

災害時の医療問題について

防災まちづくり研究会報告集会

2013年3月2日

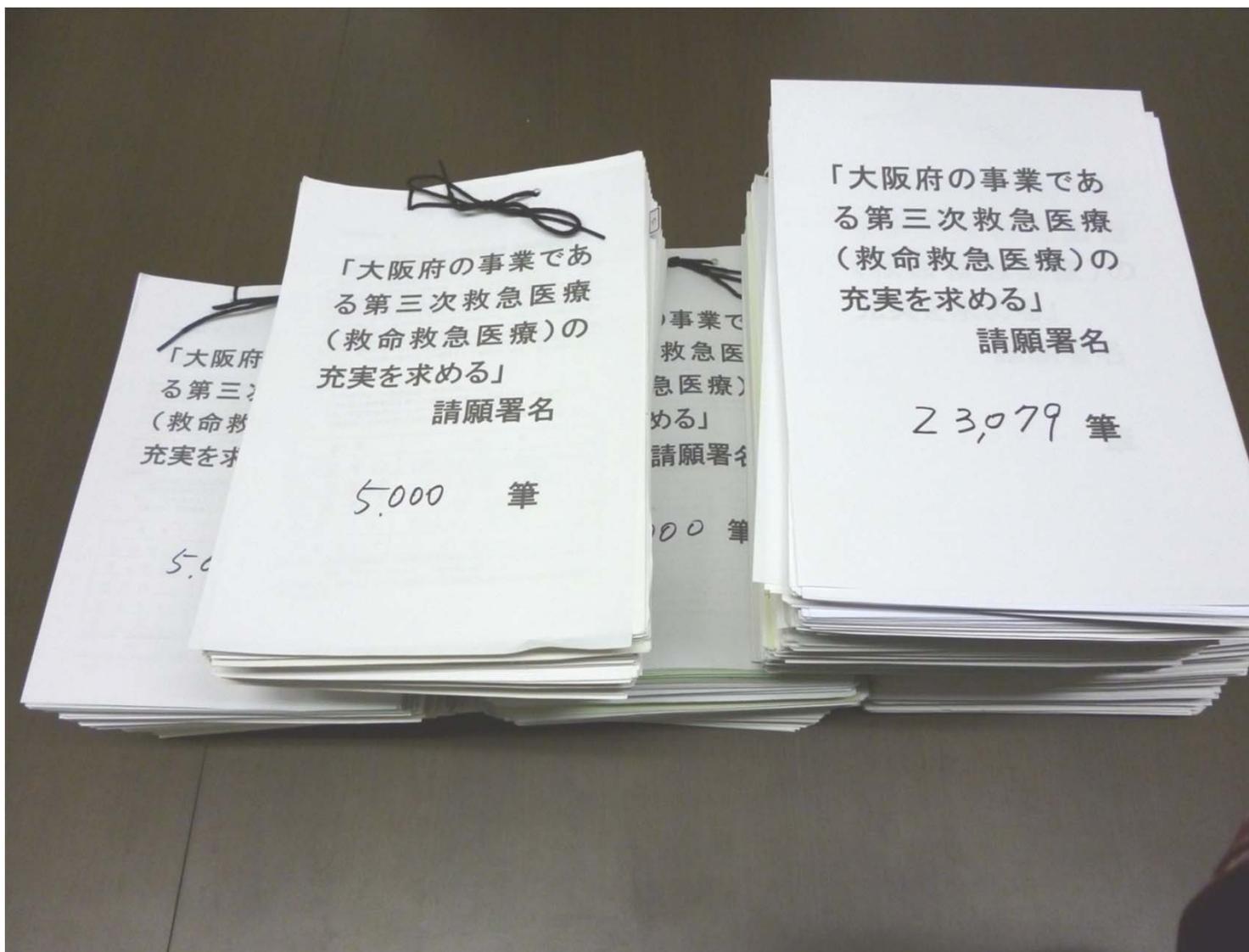
大阪医療問題連絡会

池尾 正

大阪医療問題連絡会とは

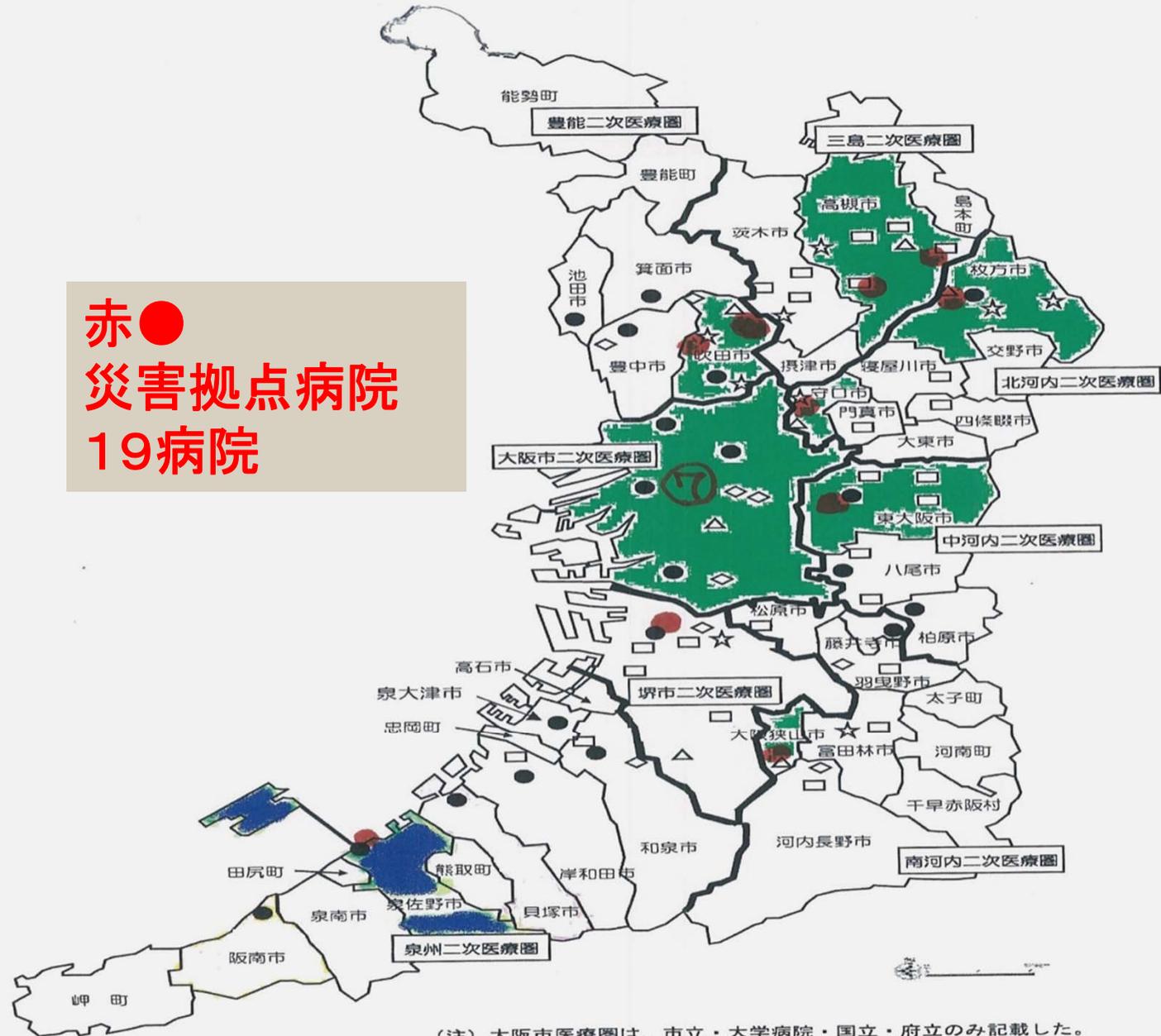
- **安全・安心のまちづくりに医療はかかせないものと考え、「いのちを大切にする大阪」をめざして、民間医療従事者や自治体病院職員、地域の労働組合や民間医療機関、地域医療を考える住民の会で結成**
- **この間、大阪府に対しての第三次救急医療（救命救急医療）の充実を求める請願署名行動**
- **千里、泉州、中河内、三島の救命救急センター（災害拠点病院指定）の充実と大阪府の責任を追及する交渉を行なっている**

2013年2月21日に提出



地域による医療格差

赤●
災害拠点病院
19病院



地域による医療格差

大阪府保健医療計画(案)平成25年度～29年度より

表2-1-5-9 医師数の年次推移

年次	大阪府		全国	
	実数	人口10万対	実数	人口10万対
昭和 55年	13,215	156.0	156,235	133.5
59年	15,054	174.2	181,101	150.6
63年	16,467	188.2	201,658	164.2
平成 4年	17,593	201.4	219,704	176.5
8年	19,440	220.8	240,908	191.4
12年	20,586	233.8	255,792	201.5
16年	21,563	244.6	270,371	211.7
20年	22,650	257.2	286,699	224.5
22年	23,114	260.7	295,049	230.4

表2-1-5-10 医師数(平成22年末)

二次医療圏	実数	人口10万対
総数	23,114	260.7
豊能	3,411	336.8
三島	1,814	243.5
北河内	2,499	210.7
中河内	1,478	172.7

二次医療圏	実数	人口10万対
南河内	1,600	251.6
堺市	1,789	212.5
泉州	1,816	196.9
大阪市	8,707	326.7

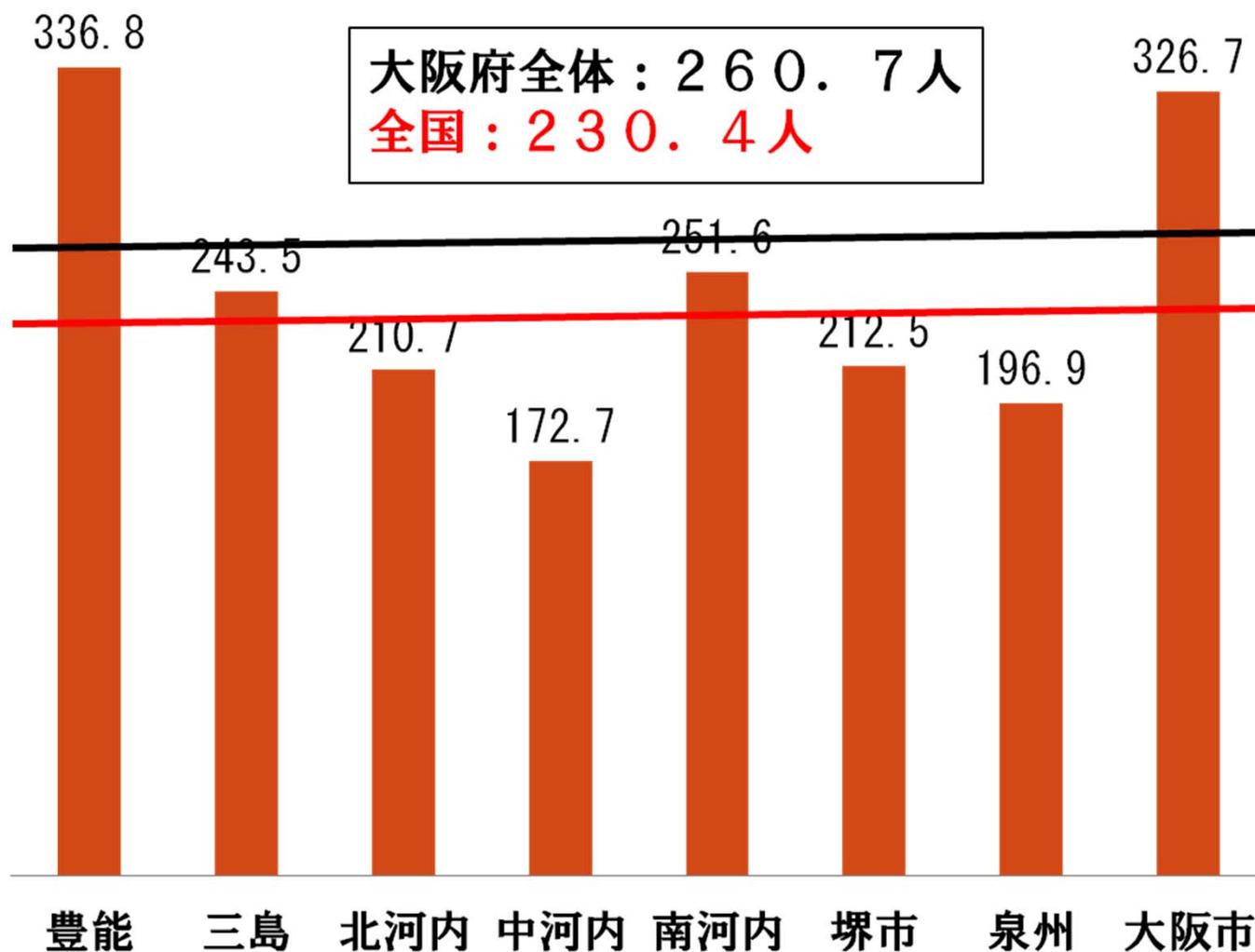
※人口は総務省統計局発表「平成22年国勢調査」を使用した。

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

地域による医療格差

大阪府保健医療計画(案)平成25年度～29年度より

人口10万対医師数 (平成22年末)



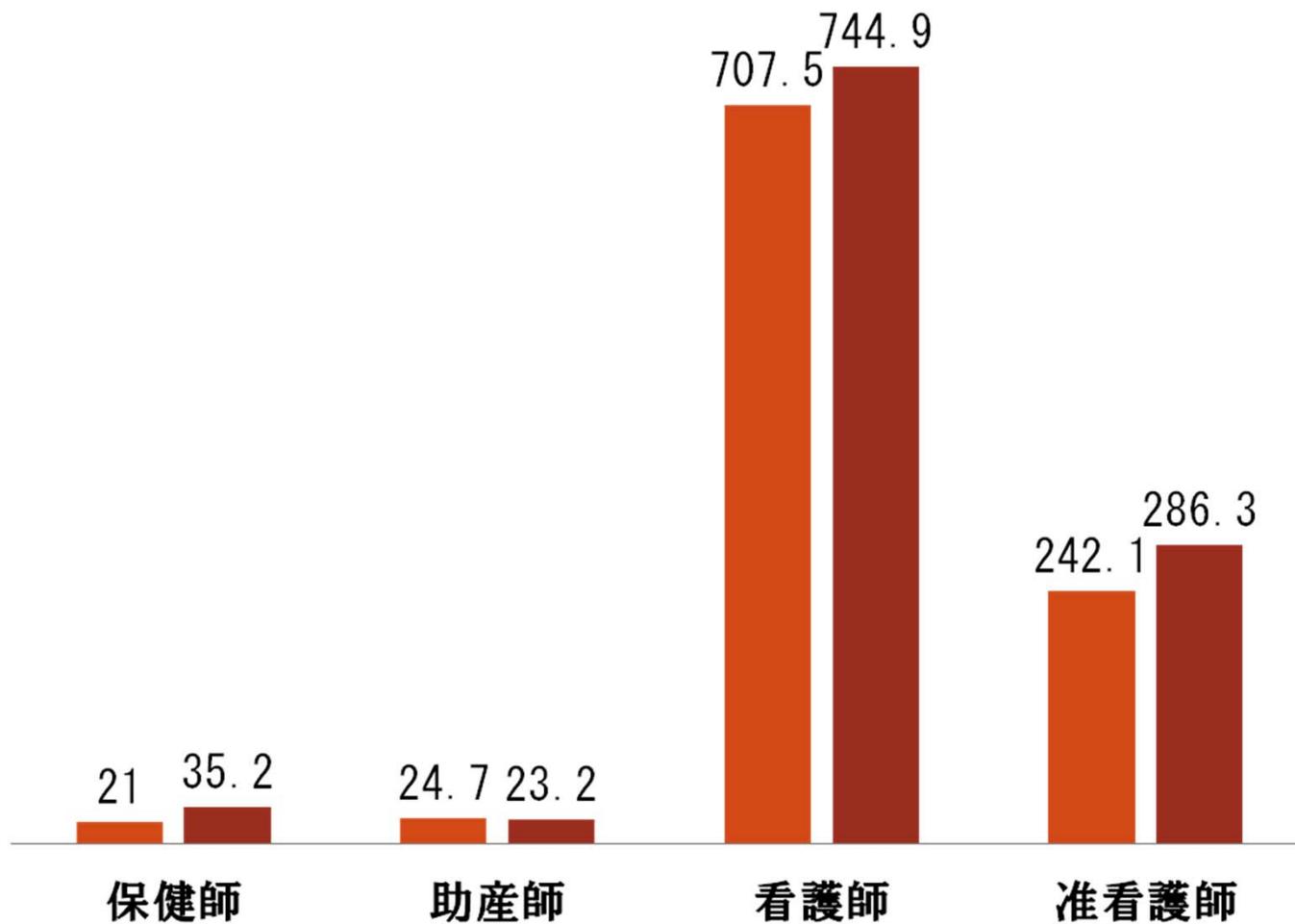
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

就業看護関係従事者数

大阪府保健医療計画(案)平成25年度～29年度より

人口10万対就業看護関係従事者数 (平成22年)

■大阪府 ■全国



厚生労働省「衛生行政報告例」

大阪府交渉(2013.02.08)①

- 府下19の災害拠点病院で、災害時72時間、医薬品、医療材料、水、食材、燃料等が確保されているのか
 - ◆ 「国からはそれぞれ有することが望ましいと指定要件が、昨年3月に改正され、府下の災害拠点病院は概ね、この要件をみたしている」
- 災害時の患者数は通常の何倍と想定しているのか
 - ◆ 「国の通知で、入院は2倍、外来は5倍のスペースと簡易ベッドが必要となっている」

大阪府交渉(2013.02.08)②

- それは、確保されているのか
 - ◆ 「国のアンケート調査で概ね満たしている現場は見ていないので、実態と聞かれても…」
- 予算は、どうか
 - ◆ 「消耗率の1%で年間1病院50万円」
- そんなことで大阪府の責任を果たしているのか
 - ◆ 「来年度は、予算と実態を把握したい」

大阪府保健医療計画（案）では、発災後の時系列に応じた医療提供体制の構築や災害医療コーディネーターと機能の強化に取り組みますとあるのに、あまりにも無責任な大阪府の災害時医療

病院との懇談等で

- 医薬品の3日分の備蓄は院内ではできていない
- 業者との優先協定は、まだ締結できていない
- 自家発電の燃料タンクが地下にあるため、津波がきたら発電機本体の燃料だけになる

読売新聞が、昨年の11月～12月にかけて行なった、災害拠点病院アンケートに、

- 市立堺病院と府立泉州救命救急センターでは、「浸水のおそれがある」と答えている。

病院の対応

- 非常用食材、飲料水を1階から6階屋上の倉庫などに移した
- 備蓄量を2.5倍の2500人分に増やした
- 発電機と燃料タンクを屋上に移した
- 岩手県立高田病院の石木院長は、自治労連の講演会で、備蓄品等は上に上げるべき、上から下ろすのは容易だが、下から上げるのは大変など多額の費用が必要となる対策である
- 大阪府は、それをたった年間50万円でやれと言うのか。各病院の努力では、大災害に対応しうるだけの予算や人員はあるのか

災害時医療充実のために

- 大阪医療問題が、この2月から4月にかけて実施する「公立病院、災害拠点病院キャラバン」で、各病院の災害時医療・地域医療の現状・課題等について懇談・意見交換をし、実態を把握する。
- その実態の結果をもって大阪府や関係諸機関への要望書提出や交渉・懇談等を行なう。
- 災害時医療への問題点を明らかにして、大阪府や各自治体の公的責任を徹底させるために「安全・安心の大阪府づくり」のため、大きな府民運動としていく。

ご清聴ありがとうございました

大阪医療問題連絡会
池尾 正